

地域コミュニティワークショップ 実施概要(東部地域)

日時：7月12日(日) 19:30-22:30

場所：興東公民館東里分館

第1部

時間
19:30-20:50

ファシリテーター役を務める中脇氏と宝楽氏から、奈良市や地区の人口、高齢化率等の数字データを示した後、ワークショップの趣旨(将来像を定めるための会議であり、要望を聞く場、具体的な施策提案をする場でないこと)を説明していただきました。

参加者は、それぞれの地区(田原、柳生、大柳生、東里、狭川、月ヶ瀬の6地区)でグループをつくりました。模造紙とフセンを使って、それぞれのグループで地区の魅力(良いところ)や課題(残念なところ)について話し合い、最後に各グループの代表者が発表することで、参加者間で結果を共有しました。



第2部

時間
21:00-22:20

10分の休憩の後、第1部で出た課題の中からその課題についてどんな解決方法が考えられるか皆で考えました。その際、「問題シート」を使い、「行政が取り組むこと」「地域と行政が協働して取り組むこと」「個人や団体、地域が取り組むこと」の3段階でそれぞれできることを出し合い、最後に各グループの代表者が発表することで、参加者間で結果を共有しました。



まとめ

時間
22:20-22:30

中脇氏と宝楽氏が今日出た意見をまとめました。今回のワークショップで何らかの答えが出たわけではないが、それぞれの地区の魅力や課題を共有することができました。**東部地域においては、それぞれの地区が抱えている課題に共通点が多いので、地区を越えた連携をとることが課題の解決につながる**ことが期待できます。

最後に、月ヶ瀬地区自治連合会長の上田会長のあいさつで締めくくりました。「**東部地域の連携をさらに強めることが必要**であり、今後も東部地域全体で集まる場を作る必要がある」との言葉で閉会しました。